

東日本大震災支援 ～災害車両撤去支援チームの派遣について～

日本ELVリサイクル機構（栗山義孝代表理事）では、被災地域自治体の求めに応じて、道路その他に放置されている被災車両の撤去作業を支援するため、派遣団員の募集を行ってきましたが、このほど、応募に応じて頂いた会員各社で編成する第一陣を来る5月9日（月）より仙台市並びに周辺地域に派遣することとなりました。

今回の第一陣に参加する22名は、東京、埼玉など関東圏の会員の他、山梨、富山、また遠く大阪から参加される会員業者の方々もおられます。特に、山梨県カーリサイクル協同組合は、組合として本支援事業に取り組むことを決め、総勢11名の組合会員が参加されることとなっています。

リーダー役の金澤寿幸ELV機構理事を含む22名ならびに作業車両10台で構成する第一陣は、5月9日（月）午後3時に現地対策本部に集合した後、現場の視察、オリエンテーション等を行い、翌10日より13日までの4日間で被災車両の撤去作業を行い、5月14日（土）朝現地で解散する予定です。5月16日（月）から週末までの日程で

派遣する第二陣は、現時点で、23名の団員並びに15両の作業車両の参加が予定されています。

今回の支援事業は、先に設置された「災害車両処理対策本部」（本部長：栗山義孝、ELV機構代表理事）の取り組みの一環として実施されるもので、去る4月11日にNGPグループが作業チームを派遣したのを皮切りに、対策本部に連なる他のグループもチームを派遣し、仙台市を中心に約3週間に渡り実施されてきた事業を引き継いで行われるもので、これまでに被災車両約3千台の撤去と一時保管場所への搬送が実施されました。

今回はとりあえず2チームの派遣で一旦終了することになりますが、当事者である地方自治体の意向を確かめつつ必要な支援を行うことになるため、現地対策本部を中心に各自治体との協議を進め、今後更に宮城県内の自治体、あるいは福島、岩手各県並びにその自治体などからも同様の要請がある場合は、改めて関係者に諮り、対策本部を中心に新たな派遣チームの編成を行うことになった際は、改めて皆様のご協力をお願いいたします。■

～震災関連行政情報～

◆ 福島県内の災害廃棄物の取り扱いについて

厚労・経産・環境各省は5月2日、福島第一原発事故の避難区域と計画的避難区域内の放射性物質に汚染された災害廃棄物の移動と処理を当分行わない方針を発表した。

それによると；

（1）避難区域及び計画的避難区域の災害廃棄物については当面の間、移動および処分は行わない

（2）上記区域以外の内、浜通り、中通り地方にある災害廃棄物については、当面の間、仮置き場に集積しておき、処分は行わない。

（3）その他の地域にある災害廃棄物については、従前通り計画的に処分を行う。

なお、環境省は連休明けから、原子力安全・保安院と協力して、同県浜通り、中通り地方の廃棄物仮置き場で空間線量率や放射能濃度の調査を始める予定。

注：ここで言う災害廃棄物とは、「津波または地震により発生し、屋外に放置された廃棄物」であり、被災した車は対象となりますが、災害とは無関係な使用済自動車の処分を制限するものではありません。

◆ 番号不明被災自動車の取り扱いについて

車台番号、ナンバープレートが判別できない車両を使用済処理を行う際、自り法の規定では再資源化預託金等の預託を告知する必要があるが、経産・環境両省は、4月27日付けで自治体に事務連絡を発信し、今回の東日本大震災で被災した車両については、引き取り業者に引き渡す際、預託金を負担する必要がないことを通知した。この取り扱いは、5月中旬をめぐりに開始する予定。本事務連絡文書は以下URLからダウンロードすることができます。

<http://www.env.go.jp/jishin/attach/>

～JAERA東北関東大震災義援金協力状況～

jaeraニュースレターVol.16（4/15付け）以降の義援金募金者名をご報告します。

《協力企業・団体・個人名》（ ）内は所属 敬称略

- (株)桜井（兵庫県自動車リサイクル処理工業会）
- (有)昭和メタル（埼玉県自動車解体事業協同組合）
- 東日本資源リサイクル(株)（千葉県自動車解体協同組合）
- (有)リファインパーツ誠和（岡山県自動車リサイクル協同組合）
- (有)伊藤自動車解体（新潟県廃車処理協同組合）
- (有)旭自動車商会（茨城県自動車リサイクル協同組合）
- (有)小椋自工（千葉県自動車解体協同組合）
- (有)奥羽自動車解体（山形県自動車解体協議会）
- (株)大八商会（東京自動車リサイクル協議会）
- (株)門間商会（東京自動車リサイクル協議会）
- (有)ワールドパーツ（兵庫県自動車処理工業会）

(有)日誠産業（香川県自動車リサイクル協同組合）

(有)秋間商会（東京自動車リサイクル協議会）

埼玉自動車解体事業協同組合

西東京自動車リサイクル協会

北口健二（個人）

一般社団法人 日本トラックリファインパーツ

ELV愛知リサイクル協会

(株)スリーアール長野

鴨下ホールディング

(株)鴨下商店（埼玉県自動車解体事業協同組合）

青山信一（個人）

SPNクラブ

(有)長山商会（岩手県ELVリサイクル協議会）

(有)藤岡産業（兵庫県自動車リサイクル処理工業会）

以上25件（累計100件）■

～4月第4週の鉄スクラップ動向～

東京製鉄、26日付で鉄スクラップ購入価格を1,000円値下げ 上伸基調はGW前に終焉

東京製鉄は26日付（25日発表）で鉄スクラップ購入価格を1トあたり1,000円値下げした。値下げ改定は3月31日以来、約1カ月ぶり。同社の値下げを受けて、他の電炉筋の値下げが広がっている。このため、国内の鉄スクラップ相場の上伸基調はゴールデンウィーク（GW）を前に終焉した。

電炉筋は、裏値やスポット価格を加算して東京製鉄に先行して鉄スクラップの購入を積極的に行っていた。その後、多くの電炉でGW対策分の鉄スクラップ在庫を確保する目途がつき、東京製鉄への入荷が好転したもようで、同社の値下げ発表につながった。

当初、市場ではGW明けからの値下がり予想の大勢を占めたが、海外市場が軟調模様で推移していることや、鋼材製品市況が伸び悩んでいることから、東京製鉄は国内独歩高の是正を狙い、高騰していた鉄スクラップ相場の早めの鎮静化を狙ったと見られる。

改定後の特級価格は岡山（海・陸）41,000円、九州（海・陸）41,000円、宇都宮40,000円、田原（海・陸）41,000円。

関東地区 ゴールデンウィーク前に値下げ改定広がる

関東地区では、26日からの東京製鉄宇都宮の値下げを受けて、他のメーカーにも値下げ改定が広がった。

これにより、関東地区のH2の実勢価格は39,500～40,500円中心、高値41,500円見当、平均は39,900円となり、4万円を割り込んだ。既に炉体に入っている電炉もあり、弱気へと基調が変わった。湾岸浜値も下落し、H2は39,000～40,000円中心、一部安値38,500円で、荷止めも出ている。

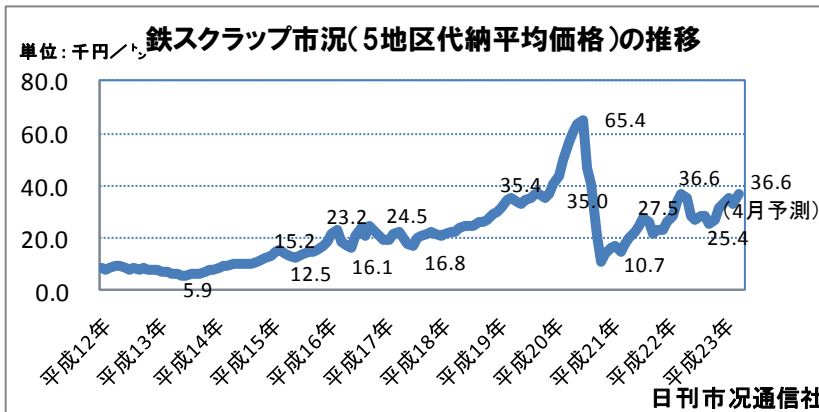
東海地区 27日までに主要6社が1,000円の値下げ

東海地区では、トピー工業、山口鋼業が26日から1,000円値下げ、大同特殊鋼、愛知製鋼、中部鋼鉄、共栄製鋼が27日から1,000円下げと、主要6社が27日までに揃ってスクラップ購入価格を1,000円値下げした。H2の実勢価格は39,000～40,500円中心、高値41,000円見当。震災後休止していた自動車工場の再稼働などで、ひっ迫感が強かった新断などの上級品種も、以前に比べると需給は幾分緩む方向にある。

関西地区 大阪も下げ基調に変化、姫路以西ではほぼ1,000円引き下げ

西日本でも基調は下げに変化した。様子見気配が強かった大阪地区でも電炉3社が1,000円引き下げたほか、姫路地区では、山陽特殊製鋼を除いて各社が鉄スクラップ購入価格を1,000円値下げした。また、九州・山口地区でも各電炉が鉄スクラップ購入価格を1,000円引き下げた。大阪地区のH2の実勢価格は、39,500～42,000円。姫路地区のH2の実勢価格は40,500～41,000円。

（※各地の価格動向は4月26日夕方時点のもの） ■



4月第4週(26日)の国内スクラップ市中実勢価格

		H2		気配
関東	北関東	39,500	41,500	値下がり
	南関東	39,500	41,500	値下がり
名古屋		39,000	41,000	値下がり
関西	大阪	39,500	42,000	値下がり
	姫路	40,500	41,000	値下がり

《編集後記》

- ◆東日本を大震災が襲った3.11から間もなく2カ月になろうとしている。震災の傷跡は、街や建物だけではなく、人々の心をも深く傷つけた。被災した人々の心の復旧は、国や自治体だけではどうしようもなく、全ての人々の思いやりや暖かい言葉が必要となろう。
- ◆そんな、思いやりの現れの一つとして、明日(5/9)午後、被災車両撤去作業を支援するELV機構チーム第一陣が仙台市に集結し、明後日朝からの作業に備えることになっている。団員の皆さんは、細心の注意のもと、良い働きをされるよう心より願う。支援チームに参加できない会員各位も、是非プロジェクトの成功を祈って頂きたい。
- ◆震災直後から会員に呼びかけた募金活動には大変強い反応があり、4月27日までの振り込み件数累計で丁度100件に達した。大変素晴らしいことと思う。募金活動は引き続き

行い、5月末まで続けますので、皆様の更なるご協力を改めてお願いする。

- ◆5月9日からの被災車両処理チームには編集子も同行し、次号のニュースレターに現地の状況、作業の進み具合などを詳しく報告する予定。
- ◆ELV機構のウェブサイトが間もなく刷新される予定。機構の広報チームが取り組んできたもので、従来のものより使いやすくなるよう工夫されているが、会員各位が活用し、育ていくことでより便利なものになると思われる。（編集子）

《編集・発行者》

一般社団法人 日本ELVリサイクル機構 広報チーム
〒105-0004 東京都港区新橋3丁目2番2号 一美ビル
Tel: 03-3519-5181
Fax: 03-3597-5171
E-mail: jaera-office2@clock.ocn.ne.jp